



6 耐久性向上改修工事等に係る事項

(住宅耐震改修及び一般断熱改修工事等の両方と併せて行う場合(Ⅰ、Ⅱ3及びⅡ5と重複して適用できません。))

住宅耐震改修の標準的な費用の額	③⑨	円
③⑨に 関し 交付 を 受ける 補助金等の合計額	④⑩	
(③⑨ - ④⑩) ※50万円を超える場合に限ります。	④⑪	
一般断熱改修工事等の標準的な費用の額	④⑫	
④⑫に 関し 交付 を 受ける 補助金等の合計額	④⑬	
(④⑫ - ④⑬) ※50万円を超える場合に限ります。	④⑭	
耐久性向上改修工事等の標準的な費用の額	④⑮	
④⑮に 関し 交付 を 受ける 補助金等の合計額	④⑯	
(④⑮ - ④⑯) ※50万円を超える場合に限ります。	④⑰	
(④⑪ + ④⑭ + ④⑰)	④⑱	
④⑱と(④⑱×⑦)のいずれか少ない方の金額	④⑲	
④⑲と500万円(太陽光発電設備設置工事を伴う場合は600万円)のいずれか少ない方の金額	⑤①	
(⑤① × 10%)	⑤②	(100円未満の端数切捨て)

「増改築等工事証明書」の「3(3)⑥ア 当該住宅耐震改修に係る標準的な費用の額」欄(又は「3(3)⑫ア 当該対象住宅耐震改修に係る標準的な費用の額」欄)の金額を転記してください。

国又は地方公共団体等から交付を受ける補助金等の合計額を書きます。

「増改築等工事証明書」の「3(3)⑥エ 当該一般断熱改修工事等に係る標準的な費用の額」欄(又は「3(3)⑫エ 当該対象一般断熱改修工事等に係る標準的な費用の額」欄)の金額を転記してください。

国又は地方公共団体等から交付を受ける補助金等の合計額を書きます。

「増改築等工事証明書」の「3(3)⑥キ 当該耐久性向上改修工事等に係る標準的な費用の額」欄(又は「3(3)⑫キ 当該対象耐久性向上改修工事等に係る標準的な費用の額」欄)の金額を転記してください。

国又は地方公共団体等から交付を受ける補助金等の合計額を書きます。

7 子育て対応改修工事等に係る事項

(⑤②又は⑤③に該当する方(特例対象個人)が、令和6年4月1日以後に居住の用に供した場合のみ書いてください。)

あなたの年齢が40歳未満で配偶者を有している又はあなたの年齢が40歳以上で配偶者の年齢が40歳未満	⑤②	該当
年齢が19歳未満の扶養親族を有している	⑤③	該当
子育て対応改修工事等の標準的な費用の額	⑤④	円
交付を受ける補助金等の合計額	⑤⑤	
(⑤④ - ⑤⑤) ※50万円を超える場合に限ります。	⑤⑥	
⑤⑥と(⑤⑥×⑦)のいずれか少ない方の金額	⑤⑦	
⑤⑦と250万円のいずれか少ない方の金額	⑤⑧	
(⑤⑧ × 10%)	⑤⑨	(100円未満の端数切捨て)

⑤②又は⑤③の該当する欄の右の「該当」の文字を○で囲んでください。
⑤②又は⑤③の両方に該当する場合は、両方の「該当」の文字を○で囲んでください。
また、申告書第二表の「配偶者や親族に関する事項」欄に対象となる配偶者又は扶養親族の氏名、生年月日、個人番号などを記入してください。

「増改築等工事証明書」の「3(3)⑦ア 当該子育て対応改修工事等に係る標準的な費用の額」欄の金額を転記してください。

国又は地方公共団体等から交付を受ける補助金等の合計額を書きます。